

令和7年度 病害虫防除情報

令和7年5月21日
発表：福島県病害虫防除所

モモハモグリガによる被害葉の発生がやや多い状況です。
適期防除を確実にを行い、密度低下を図ってください。

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモハモグリガ
- 3 対象地域：全域

発生状況等

(1) 5月上旬の巡回調査において、モモ新梢葉における発生ほ場割合は、平年（5月下旬参考比較）に比べ高く、一部のほ場では被害程度も高くなりました（図1）。なお、県北以外のモモほ場でも本種の被害葉が確認されています。

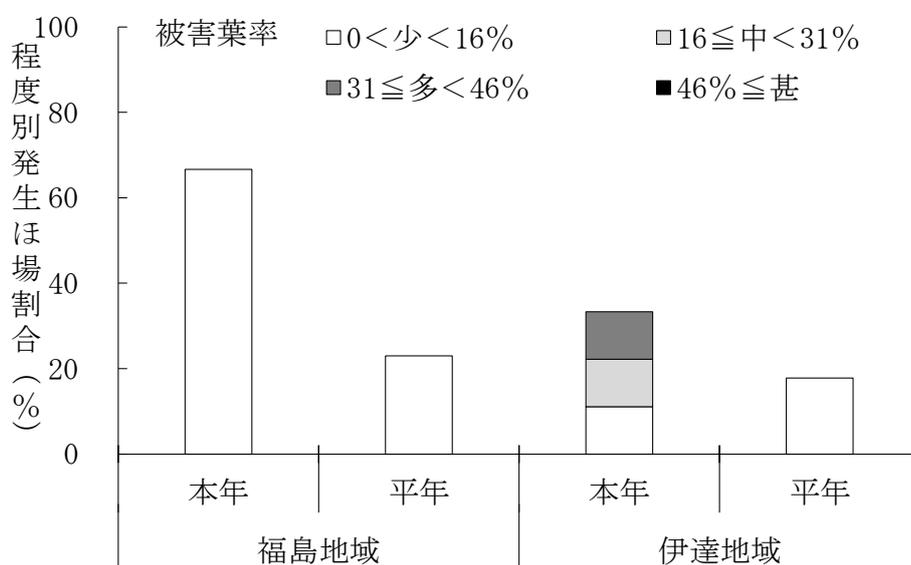


図1 モモハモグリガによる新梢葉の被害状況（5月上旬）
※平年は5月下旬調査データ

防除対策

天候予報（令和7年5月15日付け仙台管区气象台発表）によると向こう1か月の気温は高い見込みで、農業総合センター果樹研究所における第1世代成虫の誘殺盛期は、今後の気温が2℃高く推移した場合、5月6半旬頃と予測され、第2世代幼虫の防除適期は6月1半旬頃と推定されています（表1）。

本種に対して効果の高い薬剤は、アセタミプリド水溶剤（商品名：モスピラン顆粒水溶剤）及びスピネトラム水和剤（商品名：ディアナWDG）です（令和4年度参考となる成果 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/566396.pdf>）。発生が多いほ場では、使用基準を遵守して適切に使用してください（表2）。

なお、葉当たり3頭以上の寄生を受ける（写真1）と落葉が始まるとされているので、確実な防除により密度低下を図ることが重要です。

表1 モモハモグリガ防除適期の推定（令和7年5月15日現在）

	今後の気温予測		
	2℃高い	平年並	2℃低い
第1世代成虫誘殺盛期	5月30日	6月3日	6月6日
第2世代幼虫防除適期	6月4日	6月9日	6月13日

注) モモハモグリガ越冬世代誘殺盛期（4月22日）を起算日として、三角法（坂神、是永（1981））により有効積算温度を推定（農業総合センター果樹研究所による演算）。

表2 モモハモグリガ防除薬剤の農薬使用基準

薬剤名	有効成分	RAC コード	希釈倍数 ・使用量	使用方法	使用時期	本剤の 使用回数
ディアナ WDG	スピネラム	5	<u>5,000倍</u>	散布	収穫前日 まで	2回以内
モスピラン 顆粒水溶剤	アセチアリド	4A	<u>4,000倍</u>	散布	収穫前日 まで	3回以内

注) 登録内容は令和7年5月19日現在。希釈倍数・使用量の下線は試験研究成果に基づき、効果的な使用方法を示すものである。



写真1 複数の寄生を受けたモモ葉
(伊達市、令和7年5月7日撮影)



写真2 モモハモグリガ成虫

●情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727